

1月のアーティスト・イン・レジデンス プログラム ～東京文化会館『ON-MYAKU2016』公開リハーサル、児童演劇わいわいスクール～

1月に城崎国際アートセンターで予定されている、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムで、12月の定例記者会見からの追加情報をお知らせする。

1 しらいつよし なかがわけんいち ほりいさとし 白井剛 × 中川賢一 × 堀井哲史 東京文化会館 新作公演

オンミヤク 『ON-MYAKU 2016—see/do/be tone—』 滞在制作

都立東京文化会館の舞台芸術創造事業の新作公演（平成28年1月）に向け、城崎国際アートセンターのホールに、本番会場である東京文化会館小ホールを想定した舞台を組み、7週間にわたり稽古を行っている。

(1) 滞在制作

ア 期間

平成27年12月2日（水）～12月28日（月）

平成28年1月4日（月）～1月21日（木）

イ 内容・特色

≪12月の定例会見で発表済≫

イ 内容・特色

(ア) ダンサー・ピアニスト・映像クリエイターとして、各分野第一線で活躍する3人のアーティストの全く新しいコラボレーション。実験的、前衛的な舞台芸術作品。

(イ) 中川賢一により「音が鳴り」、白井剛が「音になる」、そして堀井哲史の映像により「音が見える」。「音の視覚化」を追求するこれまでにない新しい試みの公演。

(ウ) 白井剛が振付・構成・ダンス、中川賢一が音楽構成・ピアノ、堀井哲史が映像演出を行う。

(H27. 11. 30 資料)

(2) 地域交流プログラム（公開リハーサル）

12月、城崎で3者が初めて揃い全体の舞台構成や振付の創作を行い、試演会を行った。

1月には本番直前の調整をし、完成間近の作品の公開リハーサルを行う。

ア 日時

平成27年1月18日（月）午後6時～

イ 場所

城崎国際アートセンター

ウ 参加費

無料（※ 事前申込必要）

エ 一時保育

申込みは、1月11日（月・祝）までに城崎国際アートセンターへ電話

オ 申込み

電話またはメールで申し込む（代表者氏名、人数、連絡先が必要）

〔申込先〕 城崎国際アートセンター

TEL 0796-32-3888（受付 9:00～17:00 火曜休館）

e-mail info@kiac.jp

カ その他

(ア) 未就学児の入場不可

(イ) 東京では有料の公演が、滞在制作地である城崎での公開リハーサルは無料

《12月の定例会見で発表済》

(1) 新作公演

ア 日時

平成 28 年 1 月 30 日（土）午後 7 時

平成 28 年 1 月 31 日（日）午後 3 時

イ 会場

東京文化会館 小ホール

（ H27. 11. 30 資料 ）

2 全国児童・青少年演劇協議会「児童演劇わいわいスクール」

全国児童・青少年演劇協議会総会にあわせて、子どものためにお芝居をしている人たちが全国から集合し、「体験プログラム（ピエロ、パントマイム）」「児童演劇を学ぶ講座」などのプログラムを行う。

(1) 日時

平成 28 年 1 月 22 日（金）～24 日（日）

(2) 場所

城崎国際アートセンター

(3) 一般参加者募集プログラム

	プログラム	講師	日程	料金	定員 (対象)
	ピエロワークショップ 「出来ないことを魅力に変える！」	白井博之 (G・E-Japan)	1 月 22 日(金) 午後6時～8時 30 分	無料	20 人 (小学生以上)
1	【内容】 欠点やコンプレックスをピエロ流に明るく笑い飛ばすことで、自分らしい魅力を再発見するワークショップ（ピエロのパフォーマンスは、芸を失敗することによって拍手をもらう『失敗が評価される』という特徴を持つ）				

	人形劇ワークショップ 「図形で遊ぼう」	くすのき ^{つばめ} 燕 (人形芝居燕屋)	1月22日(金) 午後6時～8時30分	無料	20人 (小学生以上)
2	【内容】 「モノのもっとも抽象的で単純なもの＝図形」を基点にして、想像力をつかった表現遊びのワークショップ（人形劇は、人形という「モノ」を使って表現する行為）				
3	パントマイムワークショップ 「言葉を超えるファンタジー」	白井博之 (G・E-Japan)	1月23日(土) 午前10時～ 午後0時30分	無料	20人 (小学生以上)
4	【内容】 パントマイムの基本テクニックを初心者の方にもわかりやすく指導				
4	「人形劇の海外論文を読む in 城崎」 セミナー	くすのき燕 (人形芝居燕屋) 他	1月23日(土) 午前10時～ 午後0時30分	500円	20人 (どなたでも)
5	【内容】 発表者は、くすのき燕（人形芝居燕屋）、石川幹洋（人形劇団京芸）、藤田光平（人形劇団クラルテ）。参加者は、事前に指定の3つの人形劇に関する論文を読んで参加。				
5	「子どものために手をつなぐ～いま、 親、学校そして大人ができること」 講演会	小野田正利 (大阪大学大学院教授)	1月24日(日) 午後1時～3時	500円	100人 (どなたでも)
6	【内容】 教育制度学を専門とする大阪大学小野田正利教授の講演会（保護者と教師が手を取り合いながら、子どもの成長を喜び合える存在となるためのヒントとは？）				
6	リーディングワークショップ 「平和のための群読」	納 ^{のうとみ} 富俊郎 (人形劇団ののほな)	1月24日(日) 午後3時30分～6時	無料	20人 (小学生以上)
6	【内容】 平和をテーマにした3つのおはなしを参加者全員で読む				

(4) 一時保育

申込みは、1月15日（金）までに城崎国際アートセンターへ電話

(5) 申込み

電話、FAX またはメールで申し込む（代表者氏名、人数、希望の講座、連絡先を明記）

〔申込先〕 城崎国際アートセンター

TEL 0796-32-3888（受付 9:00～17:00 火曜休館）

FAX 0796-32-3898

e-mail info@kiac.jp

《プロフィール》

1 全国児童・青少年演劇協議会（略称：全児演）

児童・青少年演劇に携わる劇団・個人（プロアマチュアとも）、演劇教育に取り組む教師などを中心に大阪で生まれた。現在は全国で団体・個人計 125 名の加盟を数え、全国 7 つのブロックごとにそれぞれが地域の特色を生かしながら活動している。

3 小野田正利 (Masatoshi Onoda)

1955 年、愛知県日進市生まれ。現在、大阪大学大学院人間科学研究科教授。専門は教育制度学。「学校現場に元気と活力を！」をスローガンに研究活動を展開。イチャモン研究会（新新・学校保護者関係研究会）代表。

4 くすのき^{つばめ}燕 (Tsubame Kusunoki)

1961 年東京都出身。人形芝居燕屋主宰。信州大学人文学部心理学専攻卒業、プーク人形劇アカデミー出身。日本ウニマ（国際人形劇連盟）副会長、日本人形劇人協会、全国児童・青少年演劇協議会会員。大学在学中に人形劇を始め、プーク人形劇アカデミーで本格的に人形劇を学ぶ。1986 年から 10 年間、人形劇団・空中分解で作・演出を中心に活動。2009 年、チェコで隔年行われているプロによるこどものための国際人形劇フェスティバル「マテジンカ'09」において、演出作の「シアタートライアングル」が 5 歳以上の部門のグランプリを授賞。出演のチカパンと小川耕侖には最優秀演技賞のダブル受賞となる。現在、長野県内はもとより、全国で人形劇の上演は勿論、演出・ワークショップなど多面的な活動を展開中。

5 白井博之 (Hiroyuki Shirai)

中央大学文学部哲学科(東洋思想)卒業。新聞社の論説委員を目指している最中に『魔が差して』この世界へ。中野ブラザーズ(中野啓介、章三)両氏にタップダンス、ジャズダンスを師事。神戸モザイク大道芸人コンテスト決選大会に出場。プロフェッショナル部門にて 2 年連続グランプリ受賞。NHK「紅白歌合戦」にてクラウンとして森高千里と共演。米国ラスベガスのテーマホテル「サーカス・サーカス」にて行われた「2001-a Clown Odyssey」に日本クラウンチームのリーダーとしてコーディネーター・出演。現在、主宰する G・E-JAPAN エンターテイメント・カレッジ大阪本校、神戸三宮校、神奈川百合ヶ丘校にて主任講師を務める他、全国各地での講演会・講習会・ワークショップにて【ほのぼのクラウン伝道師】として活動中。

6 納富俊郎 (Toshiro Nodomi)

1951 年、長崎県諫早市生まれ。人形劇団ののはな主宰。熊本大学建築科を経て、1972 年、人形劇団プーク（東京）入団。主に舞台で活動し、70 以上の作品に出演。多くの作品に出演する傍ら、舞台監督も兼ねる。1991 年に人形劇団プークを退団し、以後、人形劇団ポポロ、人形劇団ひとみ座、エツコワールドなどで、人形劇に出演。他にテレビやイベントの出演など。また、侯孝賢監督の映画「戲夢人生」（台湾）に、俳優としても出演している。その後エツコワールドに入社、作品の創造と演出・出演・プロデュースと、さまざまな活動を行う。NHKハイビジョン放送「人形千夜一夜物語」に、相原勇とともに孫悟空の人形で司会をつとめる。1997 年にはエツコワールドを退社し、翌年、妻（祥子）の実家である北九州に引越して夫婦 2 人の「人形劇団ののはな」を旗揚げ、現在に至る。

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016

事業内容については

城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888